

平成 29 年 10 月
ス ポ ー ツ 庁

1. 学業充実WGの目的

高等教育機関である大学にとって、グローバル化・少子高齢化等の社会の激変に対応できる、幅広い教養や高い専門性を備えた人材の育成は重要な使命であり、目標達成能力やリーダーシップ能力の向上等に資する運動部活動をはじめとした大学スポーツは、次世代を担う優秀な学生の育成の一端を担う重要な活動となっている。

また、長時間労働の是正等働き方改革が進められる現代社会においては、運動部活動等を通じて身に着けられる能力と併せて、高い教養や知識、インテグリティ（以下「教養・インテグリティ等」という。）を培うことが益々重要となっている。

しかし、現状において、運動部活動に偏重するあまり学生の本分である学業がおろそかになっている学生アスリートや、暴力やパワハラ等の問題が度々発生するなど、単に体育会に所属しているのみでは、教養・インテグリティ等の向上や担保することが難しい状況となっている。

従って、日本版NCAAは、学業の充実等を通じて得られる教養・インテグリティ等及びスポーツ活動を通じて得られるコミュニケーション能力等を持つ優秀な学生アスリートの育成に貢献し、また、日本版NCAAに加盟する大学の学生アスリートが社会から高く評価され活躍することを目指し、日本版NCAAが担うべき具体的な役割及び優先的に取り組むべき事項について検討する。

2. 日本版NCAAが担うべき具体的な役割（案）

優秀な学生アスリートの見える化

- ・表彰制度の創設

日本版NCAAに所属する学生の教養・インテグリティ等の担保

- ・デュアルキャリアプログラムの開発や講習の実施
- ・インテグリティ教育の開発や講習の実施
- ・学業支援（チューター制度やE-learningの提供等に係る支援）
- ・最低限の成績要件の統一や練習時間の制限
- ・共通入学ルールの設定

優秀な学生アスリートが社会から高く評価されるための仕組みづくり

- ・企業向け説明会の実施
- ・企業とのマッチング支援（就職相談等）